

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	福山市立山手小学校 全校児童（1年59名、2年65名、3年57名、4年68名、5年54名、6年50名） 保護者・地域住民 約10名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育 ） ② その他（ オリパラクイズ・オリパラ放送局 ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックについて興味関心をもち、自らスポーツを楽しもうとする児童を育成する
5 取組内容	<p><事前学習></p> <p>○「オリパラクイズ」「オリパラ放送局」 【対象：全校児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童玄関そばの廊下に、「オリパラクイズ」を掲示し、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義等についてのクイズを出題する。（1回につき5題） ・ボード付近に解答用紙と投函箱を設置し、休憩時間などを利用してクイズに取り組む。 ・毎週金曜日の給食中にクイズの回答を放送し、全問正解者には、「全問正解認定証」を配付する。 ・福田正博さん来校直前は、福田正博さんに関するクイズを出題することで、福田さんへの興味・関心をより一層高める。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>○福田正博さんについて知ろう 【対象：3年】 実技指導を受けることになった3年生に対して、福田正博さんが現役時代どんな活躍をしていたのか、シュートシーンの映像やインタビューを通して知る。また、福田正博さんの紹介ボードの掲示を行う。</p> 

○福田正博さんをみんなで歓迎しよう 【対象：全校児童】
 福田正博さん来校前の「オリパラ放送局」等で、福田さんを歓迎するために、現役時代の応援コールの練習をする。

<事業実施日：12月11日（火）>

○福田正博さん講演会「夢とチャレンジ」【対象：全校児童】



○福田正博さん 実技指導 【対象：3年生57名】
 ボールを使用しない活動では、ルールを守ることの大切さ（フェアプレー）について考えることができる内容だった。



ボールを使った活動では、2人組でボールを操作する活動をした。また、福田さんとシュート対決もした。元プロ選手のシュートの速さに、子どもたちも驚いていた。

<事後指導>

○講演会の内容をまとめ、掲示した。
 ○体育科の活動や特別活動などで、「フェアプレー」の大切さについて考えた。



6 主な成果

○「オリパラクイズ」「オリパラコーナー」を掲示することで、児童は、オリンピック・パラリンピックについて広く興味関心をもつことができた。

○福田さん講演会後の児童アンケート(対象：3～6年)では、93.9%の児童が「スポーツの意味や大切さに対する理解・関心」が高まり、体育の授業を中心に、「今の言動はフェアプレーかな。」という問いかけで、子どもたちが自分たちで考えて行動する姿が見られるようになった。

○4年の係活動の中に「スポーツ速報係」が発足し、児童が気になったスポーツニュースを朝の会で紹介する活動が見られるなど、スポーツへの興味関心が高まった。

7実践において工夫した点(事業の特色)

○オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるために、校内にマスコットキャラクターのぬいぐるみを設置した。
 ○福田正博さんを全校で迎える雰囲気をもつために、現役時代の応援コールの練習を行い、福田正博さんが体育館に入場する時、全校

	で応援コールをしながら迎えた。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 7月の研修をふまえ、計画立案ワークシートを通して、各教科の指導や行事とオリンピック・パラリンピック教育との関連について考えたが、実施状況について交流する機会があまりもてなかった。学校全体を通して、取り組む項目を焦点化して実施することを検討する必要がある。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • オリパラクイズを通して、オリンピック・パラリンピックについて興味関心をもつ。 • 事前合宿誘致の国について調べる。